

## WELCOME TO OJAI R30

Ojai R30は、小型で軽量ながら、高い技術に裏打ちされたクラス最高のハイ・パワーサプライ・ユニットです。本機はクリーンで安定した9V、12V、18Vの電源をエフェクターへ供給でき、そのデザインは軽量で拡張性に優れています。また、2ステージのネットワークを採用し、プリアンプリ出力、オプティカライズ回路、マルチステージ・フィルタリングによって、供給電源はエフェクターの最大ダイナミックレンジを引き出します。

### 超低ノイズ

Ojai R30のアナログ回路は、2段階の分離回路を採用しています。また、5つの出力端子は24V DC入力電源からもそれぞれが分離されており、その24V DC電源はAC入力電源からも分離されています。この方式の採用で、AC電源のノイズやグラウンド・ループによるノイズからの影響を排除します。また、デュアル・レギュレーション（2段階々の安定化回路）が採用されており、各チャンネルでは高周波域のオプト回路による入出力の分離が、出力負荷にも影響されない安定した出力をお約束します。

### ワールドツアーにも対応

電源は各国によって異なるため、他の国でプレイする度に電源ユニットを用意する必要があります。しかし、Ojaiの電源入力部は100~240VACに対応しているため、世界中のどこでも使用することが可能です（適切なIECケーブルが必要です）。たとえ会場の電源がクリーンでなくても、クリーンで安定した電源をエフェクターに供給することができます。

### スタートガイド



### OJAI R30の拡張性

ペダルボードが大きくなったら、24V THRU 端子を使用して Ojai を複数リンク接続し、DC 出力を増設することができます。

24V電源アダプター（PS-124）は最大24Wの電源が出力できます。この容量は最大7台のOjaiへの電源供給を可能にします。低消費電流のエフェクターであれば、35台程度の電源供給が可能ですが、安定した動作のためにOjaiの接続は2~3台に止め、10~15台の低/高消費電流のエフェクター・セットアップをお勧めします。



### Ojaiのリンク方法

- 24V電源アダプターと1台目のOjaiを接続します。
- 付属のEIAJ-05ケーブルを1台目のOjaiの24V THRU端子に接続します。
- EIAJ-05ケーブルのもう一方を、2台目のOjaiの24V IN端子に接続します。

### 同梱品

- Ojai本体
- 24V電源アダプター（PS-124）（エクステンションには付属しません）
- IEC AC電源ケーブル（エクステンションには付属しません）
- EIAJ-05電源ケーブル（Ojai~PS-124間用）
- ペダルケーブル（45.72cm長、5.5mm×2.1mm/L-L端子）×5本
- #4（3/8”）マウント用ネジ ×2本
- マウント用テンプレートシート

### スペック

- 本体サイズ：130mm（幅）× 58mm（縦）× 29mm（高）※突起部含む
- 本体重量：171g
- 電源アダプター（PS-124）サイズ：107mm（幅）× 55mm（縦）× 32mm（高）※突起部含む
- 電源アダプター（PS-124）重量：133g
- Ojai入力：24V DC、センター「プラス」
- Ojai出力：
  - 9V DC（500mA）、センター「マイナス」 ×3口
  - 9V DC（500mA） / 12V DC（375mA） / 18V DC（250mA）、センター「マイナス」 ×2口
- PS-124入力：100-240V AC 50/60Hz
- PS-124出力：24V DC、1000mA、最大24W、センター「プラス」

### エフェクターを接続する

#### ペダル出力：

付属の5.5mm X 2.1mmケーブルを使用して、9V仕様のエフェクターと接続します。デュアル・アイソレート設計の低ノイズ出力を実現しました。

#### 9V出力：

3系統から9V/500mA（センター「マイナス」）が、各出力から得られます。

#### 9V、12V、18V切り替え出力：

2系統の出力は、9V、12V、18Vの電圧を切り替えることができます。9Vで500mA、12Vでは375mA、18Vでは250mAが最大電流容量になります。

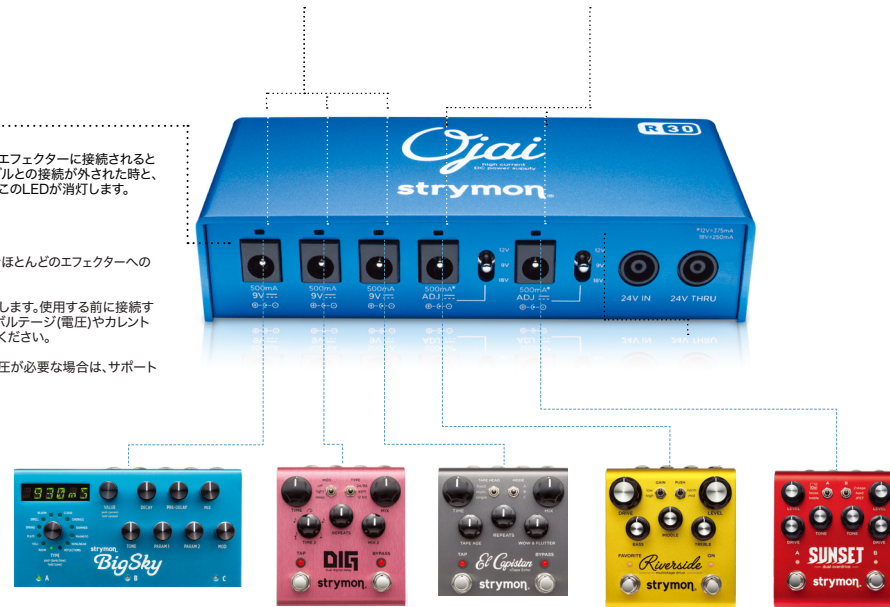
#### LEDインジケター：

各出力のLEDインジケターは、エフェクターに接続されるとLEDが緑色に点灯します。ペダルとの接続が外された時と、最大許容量を超えた場合にはこのLEDが消灯します。

Ojai R30は、strymonを含むほとんどのエフェクターへの電源供給が可能です。

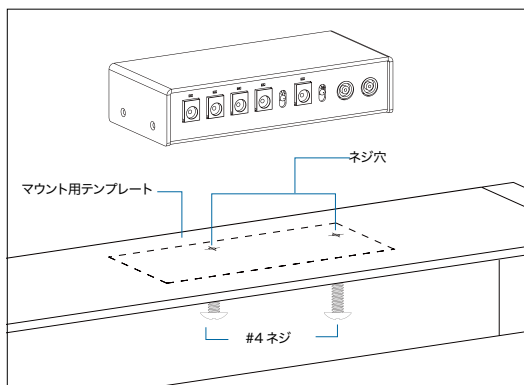
中には特殊な仕様のものも存在します。使用する前に接続する機器の取扱説明書を読み、ボルテージ（電圧）やカレント（電流）、プラグ極性を確認してください。

500mA以上の電流や高い電圧が必要な場合は、サポートページを一度ご参照ください。



### OJAI R30 マウント手順

ペダルボードにドリルでネジ穴を開けることで、Ojai R30をボードに直接マウントできます。同梱されているマウント用テンプレートを使用し、下記の手順に従ってネジ穴を開けてください。テンプレートは、strymon.net/support/ojai-r30 からダウンロード可能です。



#### 1 取り付け位置を決めます

マウント用テンプレートを、ロゴ面を上にして取り付けたい位置に貼り付けます。

この図はボードの上面に取り付ける場合を表しています。ボードの底面に取り付ける場合、ボードを逆さまにして同様の方法で取り付けてください。

#### 2 ネジ穴を開ける

ドリルを使用してネジ穴を開けます。ビットは1/8”（3mm）を使用してください。

#### 3 Ojai R30を取り付ける

穴に合わせてR30を設置し、ボードの裏側から同梱されているネジ（#4、3/8”）を使用して固定します。

オールアクセスインターナショナル株式会社

お問い合わせはこちら

Mail nedal@allaccess.co.jp

WEB www.allaccess.co.jp